

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県民総ぐるみの県民運動を引き続き着実に展開するため、県民、事業者等が主体的に行う脱炭素の取組みを明示した「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」について、下記の方向性により内容の見直しを図る。

- 改定方針**
- ・ プランのスキームは現行から継承し、これまでの取組みを踏まえた上で**新たなアクションの追加など取組み内容をアップデート**する。
 - ・ 特に県民に取り組んでほしい、**複数のアクションを厳選し、覚えやすいフレーズにまとめて周知**する。

カーボンニュートラルやまがたアクションプラン（改定版）の構成

1 はじめに ～地球温暖化とカーボンニュートラル～

- ・ 地球温暖化の現状と影響 等
- ・ カーボンニュートラルとは／なぜカーボンニュートラルが必要か
- ・ 「ゼロカーボンやまがた2050」と「第4次山形県環境計画」 等
- ・ **「山形県脱炭素社会づくり条例」の趣旨説明** **NEW**

最新データへ更新

2 アクションプランの基本的な考え方等

(1) 策定の趣旨

持続的な発展が可能な豊かで美しい山形県を目指して、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県民・事業者等が主体的に行う取組み**自主的かつ積極的に取り組むべき脱炭素アクション**を明示し、それぞれの行動に結び付けるもの

条例の理念を踏まえ更新

(2) 対象期間

令和3年度～7年度（5年間） ⇒ **令和8年度～12年度（5年間）** **NEW**

(3) 基本的な考え方 **継承**

- ・ あらゆる分野について脱炭素型のライフスタイルへの転換を促し、浸透させていく
- ・ 当面は既存手法・技術を徹底活用しつつ、並行して新技術の導入も引き続き推進
- ・ 環境と成長の好循環を図り、地域の課題解決にもつなげていく

(4) プランのスキーム（取組みの柱とアクション主体）、アクションの方向性 **継承**

徹底した省エネの推進	家庭（県民）
再生可能エネルギーの導入拡大	産業・事業（事業者）
その他のアクション	公共分野（行政）

未来のために、	かえる	意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
	つくる	エネルギーを創る、地域活力を作る
	かかわる	自分ごととして積極的に参加する

脱炭素アクションを
今、始めましょう

(5) 数値目標（第4次山形県環境計画と共通の目標値） **計画見直しに合わせて改定（検討中）**

項目	目標値(2030(R12)年)
やまがた健康住宅の年間新築戸数	360戸/年
環境マネジメントシステムに基づく取組みを行っている事業所	800事業所
全登録車数に占める次世代自動車普及率	50%[243,000台]
民有林における新規間伐面積(R1からの累計)	26,000ha
県内電力総需要量に対する県内で発電された再生可能エネルギーの割合	43.4%

3 カーボンニュートラルやまがた「●つのキーアクション」 **NEW**

【キーアクションの内容案】

- 特に取り組んでほしい（取り組みやすい）4～5のアクションを厳選（県民・事業者県民・事業者共通で取り組めるアクションを想定）
- 県民に親しみのある自然環境等のキーワードを用いて、覚えやすいフレーズに（例えば、「もがみかわ」「がっさん」「じゅひょう」「やまがた」等4～5文字を頭文字としたフレーズ）

<厳選するアクションの候補（順不同）>

- ・ **エコドライブの実践、エコカーの導入**
- ・ **CO2排出量、エネルギー使用量の見える化**
- ・ **再エネ設備導入、再エネ電力切替**
- ・ **地元産（農産物・木材・製品）の奨励**

<フレーズのイメージ>

- 「か」 ガソリンせつやく エコうんてん
- 「つ」 つぎのいっぽを みえるかで
- 「さ」 さいエネいてて おとくだね
- 「ん」 んまいぜ!いいぜ! じもとさん

4 家庭でのアクション

5 産業・事業でのアクション

6 公共分野でのアクション

別紙参照

【主な改定事項（共通）】 **NEW**

- アクションごとに「かえる」「つくる」「かかわる」を分類
- 主なアクション（省エネ家電買換え・ガソリン車とEVの比較等）に伴う省エネ効果、節約効果についての記載を整理し、まとめたページ・資料を追加
- 県民運動構成団体における特徴的な取組みをコラムとして掲載

7 推進体制と進捗管理

新たな脱炭素県民運動を推進する協議会を設立し、県民総ぐるみの運動を展開
⇒ **「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」による運動展開** **更新**

アクションプラン改定に向けた今後のスケジュール

- ・ R7. 11月 第2回改定検討WT（書面）改定の方向性について意見照会
- ・ R8. 1月 第3回改定検討WT（ハイブリッド）プラン案について協議
- ・ R8. 2月 県民運動推進会議の構成団体へプラン案を提示、意見照会
- ・ R8. 3月 アクションプラン改定

「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」改定の方角性

主なアクション内容のアップグレード

家庭でのアクション

徹底した省エネの推進

- (1)家電での省エネ
 - ・照明や家電製品を省エネ性能の高いものに買い換える
- (2)建物での省エネ
 - ・高断熱・高気密住宅で健康で快適に暮らす
- (3)乗り物での省エネ
 - ・自家用車に乗るときはエコドライブ
 - ・自家用車を次世代自動車に
- (4)行動での省エネ
 - ・まずはCO2排出量の「見える化」から **NEW**
 - ・「つぱなし」をやめる
 - ・まとめる
 - ・なるべくごみを出さない
 - ・地元産の旬の食材、地元企業の製品を選ぶ

再生可能エネルギーの導入拡大

- (1)再エネ発電設備の導入
 - ・太陽光発電設備等を設置する
 - ・自家消費して電気の購入量を減らす
- (2)再エネ蓄電設備の導入
 - ・日中発電した電気を貯めて夜間に使用
- (3)再エネ熱の利用
 - ・木質バイオマスで暖房、地中熱で融雪
- (4)使用する電力の切替え
 - ・再エネ電力に切り替える
 - ・EV+再エネ電力でゼロカーボン・ドライブ

県・市町村における
地域脱炭素施策
の活用・協力

その他のアクション

- (1)脱炭素への意識転換
 - ・意識とライフスタイルを脱炭素へ転換
 - ・環境に配慮したエシカル消費の実践
- (2)環境学習・環境イベントへの参加
 - ・子どもと一緒に考える **NEW**
 - ・若者向けの環境学習・イベントに積極参加する
- (3)木や森との関わり
 - ・豊かな森林環境に触れ、保全活動に積極的に参加する
 - ・日常生活で木製品を活用
- (4)ブルーカーボン生態系の保全活動への参加 **NEW**

家庭でのアクションを推進する県の施策（主なもの）

- 省エネ家電や次世代自動車の普及促進
- 住宅の高断熱・高気密化の促進
- 食育・地産地消の推進
- 普段の生活で排出しているCO2の見える化 **NEW**
- 住宅の省エネ性能の向上と合わせた再生可能エネルギー設備の導入促進
- 県民が再生可能エネルギーで生み出したCO2削減量（環境価値）の見える化
- 環境教育・環境学習の実施
- 木育活動や森づくり活動の推進
- 樹氷復活県民会議による活動 **NEW**
- 藻場の保全活動等への支援 **NEW**

産業・事業でのアクション

徹底した省エネの推進

- (1)事業所自らの省エネ
 - ・エネルギー使用を「見える化」する
 - ・リモートワークの環境整備を進める **NEW**
- (2)事業による省エネ
 - ・提供する製品やサービスで社会の省エネを図る
- (3)農林水産業での省エネ
 - ・化学肥料、化学農薬に依存しすぎない
 - ・デジタル技術を活用してスマート化

取組み段階を追った
アクションのモデルの記載

再生可能エネルギーの導入拡大

- (1)大規模な再エネ発電設備の展開
 - ・洋上風力発電事業に様々な形で参入する
- (2)分散型の再エネ利用
 - ・再エネ発電・蓄電設備を導入する
- (3)再エネ由来電力への切替え
 - ・再エネを地産地消する
- (4)新エネルギー導入の検討
 - ・水素エネルギー等の普及を見据えた検討を行う
- (5)農林水産業での再エネ導入
 - ・加温施設で再エネ熱、再エネ電力を利用する

CNIに向けた技術的な相談・連携先
となりうる機関の窓口一覧の記載

その他のアクション

- (1)脱炭素への意識転換、技術開発等
 - ・経営・投資活動での意識転換を図る
- (2)森林吸収源対策
 - ・建築物の木造化・木質化を進める
- (3)カーボン・オフセット
 - ・J-クレジット制度を活用してオフセットする
- (4)農林水産業での排出削減
 - ・秋耕等を行うことでメタン排出を抑える

J-クレジット活用等

産業・事業でのアクションを推進する県の施策（主なもの）

- 高効率設備への更新、環境負荷低減を目的とする事業への支援
- 脱炭素経営セミナー等の開催 **更新**
- 循環経済の移行に向けた支援 **NEW**
- 洋上風力発電事業の円滑な推進
- 地域主体の再生可能エネルギー導入の支援
- 事業所等への再エネ設備導入支援
- 空港・道路の脱炭素化に向けた検討 **NEW**
- 吸収源対策としてのやまがた森林ノミクスの着実な推進

公共分野でのアクション

市町村における地域脱炭素の取組み **NEW**

- 脱炭素先行地域、重点対策加速化事業等を活用した地域脱炭素の取組みの推進

山形県のアクション（主なもの）

- 資源・エネルギー利用の削減とリサイクル促進
- 用紙類の使用量の削減
- 環境に配慮した購入・契約の推進（再エネ電力への切替え等）